

資源回復計画作成推進事業

1) 太平洋

蛸名政仁

目的

我が国周辺海域において緊急に資源の回復が必要な魚種について、全国又は地域レベルで資源回復のための計画を策定することとし、そのための取り組みについて総合的に支援する。

内容

1, 太平洋北部沖合性カレイ類資源回復計画

青森県から茨城県までの水深200m以深の海域で主に沖合底びき網漁業や小型機船底びき網漁業が利用している底魚類の多くについて、漁獲量の減少等漁獲対象魚種の変化が見られており、総じて資源は悪化状況にある。

このため、極端な資源の減少や小型魚の漁獲割合の多い、サメガレイ・ヤナギムシガレイ・キチジ・キアンコウを資源回復のための魚種と位置づけ、これらの魚種の資源回復措置を実施することにより、青森県から茨城県までの太平洋北部海域の底魚資源全体の底上げを図っていく必要がある。

このため、青森県では平成13年度に関係漁業者に事業説明会を開催するとともに、平成14年度に対象魚種をサメガレイ、キチジの2種とし、保護区を設定して資源回復を図ることとした。

資源回復措置

1) 実施年度 平成15年度～19年度

2) 対象魚種 サメガレイ・キチジ

3) 漁獲努力量の削減

サメガレイについては、親魚保護のための保護区の設定等を5年間実施する。また、キチジについては、小型魚保護のための目合いの拡大や保護区を設定。

4) 保護区 北海道幌泉郡えりも町幌泉灯台中心点と青森県下北郡大間町大間埼突端とを結ぶ線、北緯41度08分の線、東経141度45分の線、東経142度30分の線で囲まれた海域

5) 漁具 沖合機船底びき網漁業：目合い拡大による小型魚の保護
小型機船底びき網知事許可漁船：網の目合い6cm以上

6) 保護期間 毎年5月1日～6月30日

- 7) 対象漁業 農林水産大臣許可 沖合機船底びき網漁業
 青森県知事許可 小型機船底びき網漁業

資源回復の目標

- 1) サメガレイ 産卵期の親魚を保護することにより、5年間の管理措置後に漁獲を概ね2割増加させ、280トン（平成12年の漁獲量を基準、以下同じ）とすることを目標とする。
- 2) キチジ 漁獲年齢の引き上げ等により、5年間の管理措置後に漁獲を概ね2割増加させ、480トン（平成12年の漁獲量を基準）とすることを目標とする。